



## スプリングローラー型スクリーン(SR-C) 取り扱いおよび設置説明書

このたびはキクチスクリーンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

お求めのスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱いおよび設置説明書」をよくお読みください。

お読みになったあとは大切に保存し、わからないことがおきたときに読みなおしてください。

## 安全上の注意

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる危害や損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- ◆ 下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては必ずお守りください。



この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を表しています。



この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を表わしています。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容を表しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容を表記しています。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」の内容を表しています。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

## 目次

安全上のご注意	1
本機の特長	2
各部の名称・仕様及び寸法図	3
スクリーン取り付け方法	4～6
スクリーン本体をとりはずす方法	7
スクリーンのテンションを調整する方法	8
スクリーンの使い方	9
スクリーン面の取り扱い方法	10

## 本機の特長

### ● NEWタイプのプロテクターケース仕様

- ・洗練されたフォルムのNEWデザイン
- ・アルミ素材の採用により、軽量化を実現しています。  
(当社比：従来の80HDより、約35%軽量化)

### ● スクリーンテンション調整機構

- ・今まで気になっていたスクリーン下面のシワを調整ボルトを回すことで容易に解消させるテンションフィッティング機構。スクリーンの平面性がいつもベストコンディションに維持できます。(シワの性質によってはとりにきれない場合もあります。)

### ● 新開発のストップ機構

- ・特殊クラッチ機構の採用により、スクリーンを止めたい位置で、どこでも自由にストップさせることができます。

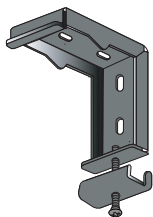
## 付属品

本機には、下記の部品及び説明書が同梱されています。取り付けの前に内容、必要個数が入っているか確認してください。



**警告**

下記設置部品以外での取り付けはおやめください。  
取り付け等の不備による脱落の恐れがあります。



セッティングブラケット  
組み立て品・・・2個

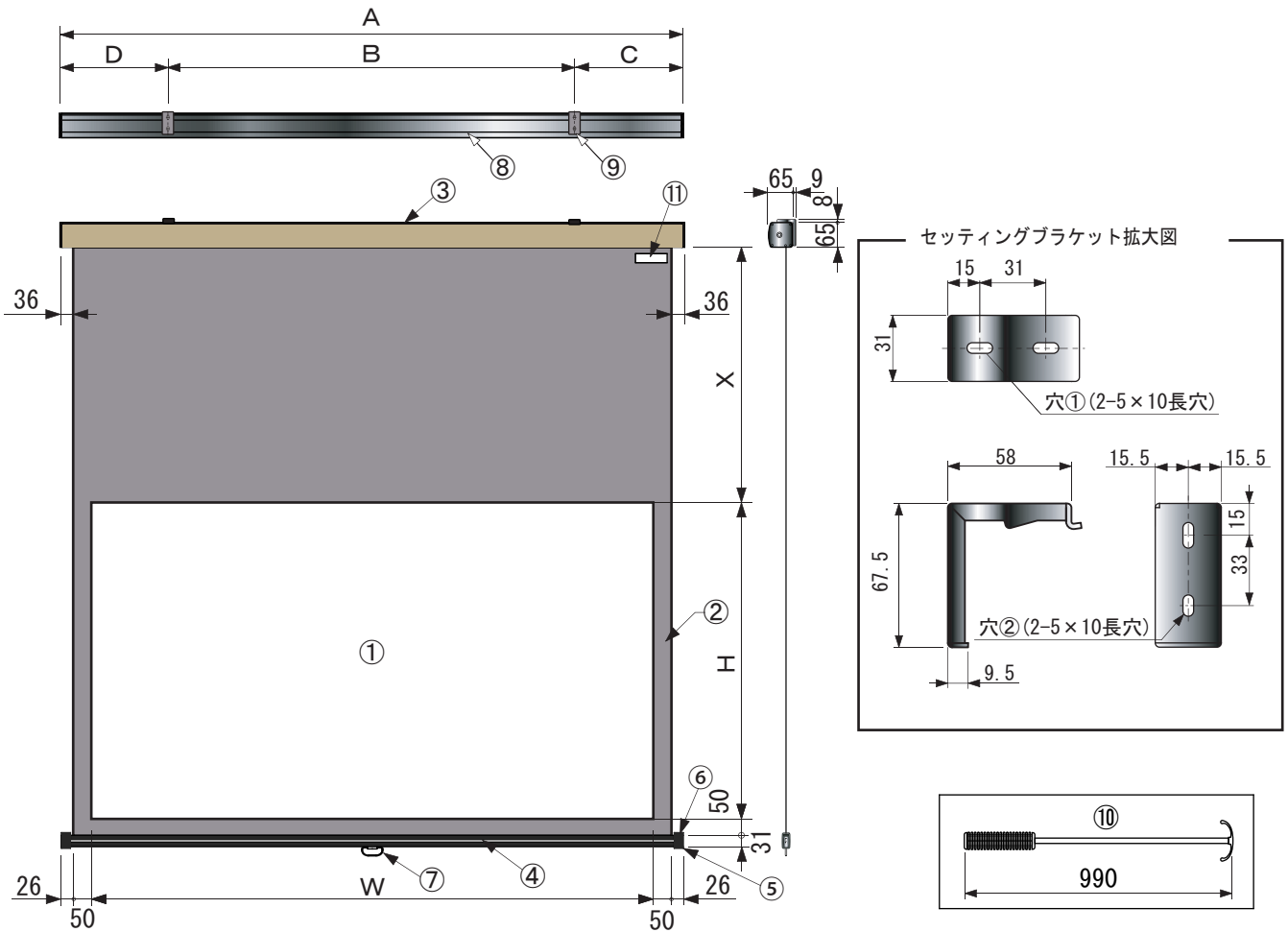


木ネジ (M4×50mm) . . . . . 4本 各1個



平ワッシャー . . . . . 4枚

# 各部の名称・仕様および寸法



名称	①	スクリーン	④	ボトムバー	⑦	プルリング	⑩	プルバー
	②	マスク	⑤	ボトムキャップ	⑧	リアケース	⑪	ストップマークシール
	③	フロントケース	⑥	ボトムキャップクッション	⑨	セッティングブラケット		

## スクリーン規格一覧表

型番		スクリーンサイズ		上黒 X (mm)	ケース外寸 A (mm)	取り付け 推奨ピッチ B (mm)	C・D寸法 各々 (mm)	重量 (kg)	
ホワイトマット アドバンス	グレイマット アドバンス	W (mm)	H (mm)					ホワイトマット アドバンス	グレイマット アドバンス
WASR-70C	AMSR-70C	1422	1067	500	1594	1100	247	5.4	5.5
WASR-80C	AMSR-80C	1626	1219	400	1798	1200	299	5.8	5.9

型番		スクリーンサイズ		上黒 X (mm)	ケース外寸 A (mm)	取り付け 推奨ピッチ B (mm)	C・D寸法 各々 (mm)	重量 (kg)	
ホワイトマット アドバンス	グレイマット アドバンス	W (mm)	H (mm)					ホワイトマット アドバンス	グレイマット アドバンス
WASR-70HDC	AMSR-70HDC	1549	872	700	1721	1100	310.5	5.7	5.8
WASR-80HDC	AMSR-80HDC	1771	996	500	1943	1200	371.5	6.2	6.3

# スクリーン取り付け方法



## 警告

- ◆スクリーンを設置する壁や天井は、100kg以上支えられる強度が必要です。また石こうボードやパーティクルボードなどの場合は、下地の補強が必要です。強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。
- ◆補強が不足している面に取り付けると脱落する恐れがあります。



## 注意

- ◆天井取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。



禁止

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・ALCアンカーによる吊り下げ
- ・天井裏Mバーへ直接重荷をかける施工

- ◆壁取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。



禁止

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・補強下地無しの施工

## 合板の天井または壁に設置する場合



注意

合板は、少なくとも20mm以上の厚さが必要となります。

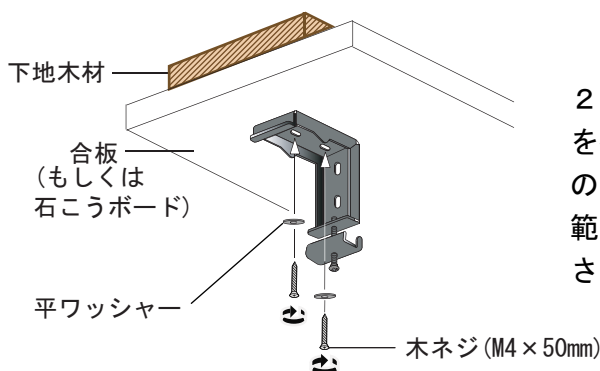
### ■取り付け場所の確認

本機は天井または壁に取り付けすることが可能ですがあらかじめ取り付けをする場所に下地の木材が通っているか機器<sup>(※)</sup>などで確認してください。

(※)推奨機器：松下電工(株)「壁うらセンサー」等

## 1. セッティングブラケットを付属の木ネジを使用して天井に取り付けする場合

- 1-1 セッティングブラケット⑨を木ネジ(M4×50mm)と平ワッシャーで穴①を使って天井に+ドライバーで取り付けしてください。



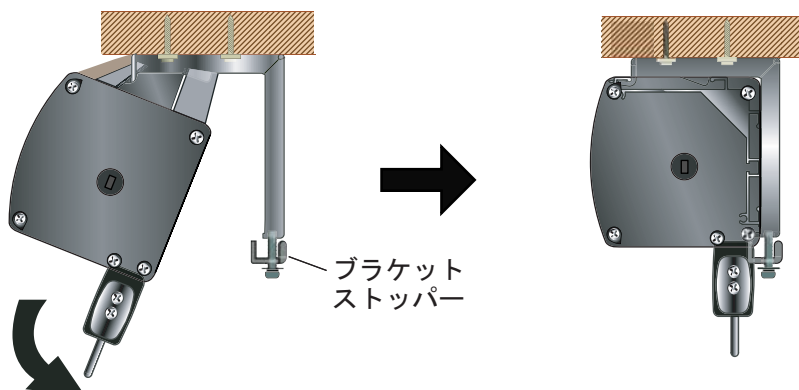
2ヶ所の間隔は3ページの「取り付け推奨ピッチB」を参照してください。また「C・D寸法」は、ケースの端部から取り付け位置を設定する時の寸法値です。範囲内の数値におさまる様にして取り付けしてください。



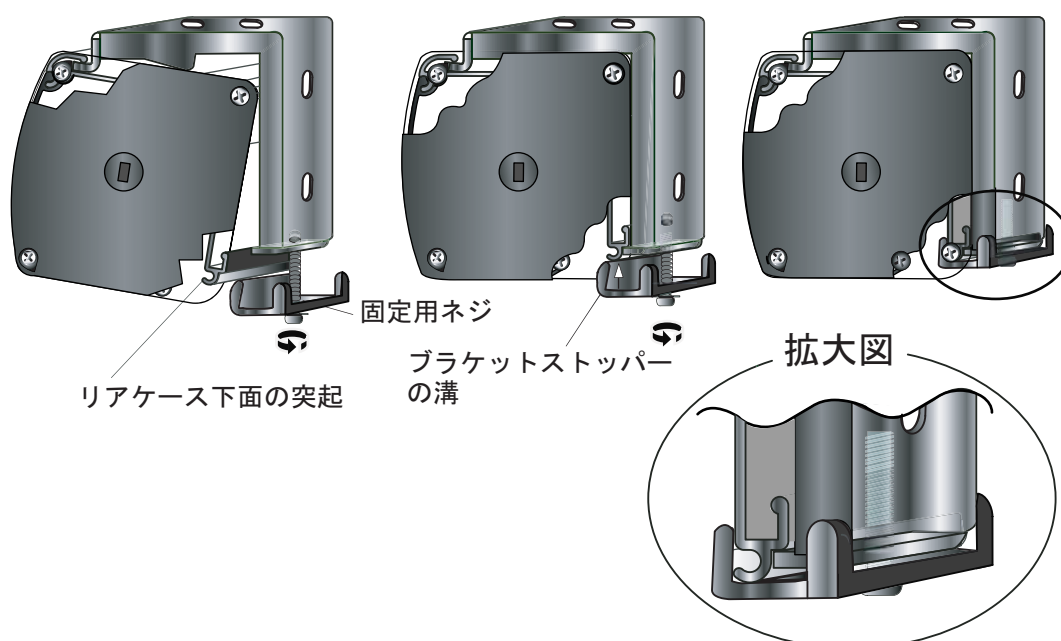
注意

セッティングブラケットは、スケールやレーザーポインター等の道具で位置を決定し、必ずそれぞれが平行になるように取り付けしてください。セッティングブラケットの平行が取れていないとスクリーンを取り付けできない場合があります。

- 1-2 セッティングブラケット⑨の先端にリアケース⑧の天井面の前部の溝部を合わせ差し込んでください。完全に差し込みが完了した事を確認したらケース全体を後ろに押し込んでください。ブラケットストッパーを完全に固定した状態ではないので、スクリーン本体にガタツキがあります。



- 1-3 押し込みが完了したら軽くフロントケースを押し付けながらリアケース下面の突起とブラケットストッパーの溝部を合わせ、ガタツキがなくなるまでしっかりと固定用ネジで締め付けしてください。

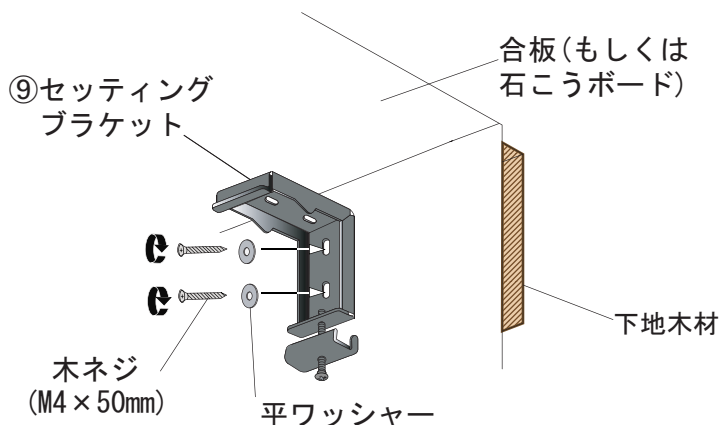


注意

- ・ セッティングブラケットにスクリーン本体を取り付けする時には、必ず2名で行ってください。1人で作業を行うとスクリーン本体の落下や作業者の転倒や転落などの恐れがあります。
- ・ ケース溝部への差し込みやブラケットストッパーの締め付けは確実に行ってください。不十分な状態で取り付けが完了した場合は、後日スクリーン本体の落下によって人的障害の発生の恐れがあります。

## 2. セッティングブラケットを付属の木ネジを使用して壁に取り付けする場合

- 2-1 セッティングブラケット⑨を付属の木ネジ(M4×50mm)と平ワッシャーで穴③を使って壁に+ドライバーで取り付けしてください。

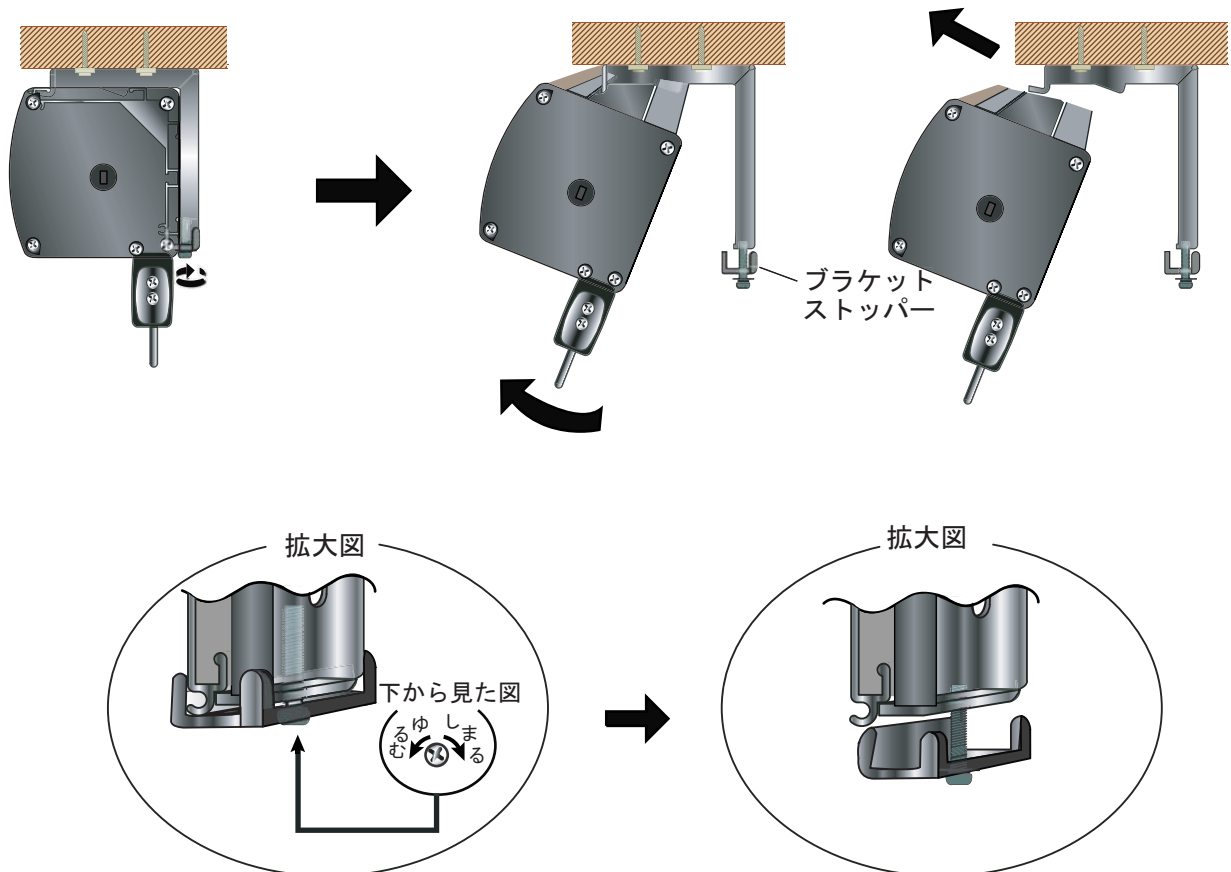


2ヶ所の間隔は3ページの「取り付け推奨ピッチB」を参照してください。また「C・D寸法」は、ケースの端部から取り付け位置を設定する時の寸法値です。範囲内の数値におさまる様にして取り付けしてください。

- 2-2 取り付けが完了したセッティングブラケット⑨にあらかじめブラケットストッパーを取り付けします。5ページの1-2の手順でブラケットストッパーを取り付けします。
- 2-3 セッティングブラケット⑨先端にリアケース⑧天井面の前部の溝部を合わせ5ページの1-3の手順で取り付けしてください。
- 2-4 押し込みが完了したら、5ページの1-4の手順でしっかりと締め付けしてください。

## スクリーンを取りはずす方法

セッティングブラケット⑨の固定用ネジ(M4×20mm)を+ドライバーでスクリーン本体が軽く前後にガタつくまでゆるめてください。リアケース⑧の背面の下部とフロントケース③をしっかり握り、手前に引いてブラケットストッパーからリアケース⑧の下面の突起をはずします。しっかりと待ったまま斜め上にスクリーン本体を引き上げてリアケース⑧の天井面の前部の溝部をセッティングブラケット⑨の先端から抜きます。



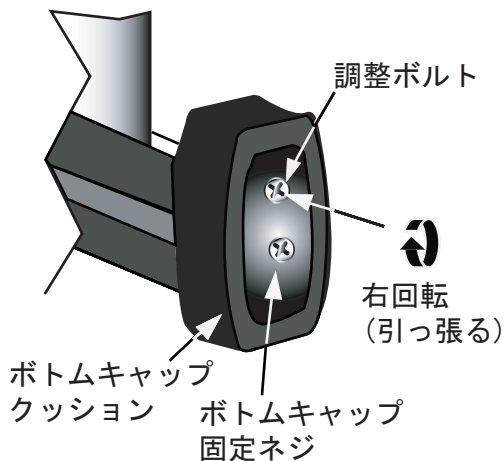
注意

- ・ セッティングブラケットからスクリーン本体を取りはずす時には、必ず2名で作業を行ってください。1人で作業を行うとスクリーン本体の落下や作業者の転倒や転落などの恐れがあります。
- ・ ブラケットストッパーからリアケース下面の突起がはずれた時に、スクリーン本体から手をはなさないでください。スクリーン本体の落下によって人的障害や物的障害の発生の恐れがあります。

## スクリーンのテンションを調整する方法

スクリーン下面のシワは、工場での出荷検査の時に調整(左右の調整ボルト共に約3回転)を完了してありますが、お使いになっているうちにシワが発生した場合は以下の手順で調整してください。

1. 調整ボルトを+ドライバーで右回転させて、スクリーンの下面にテンションをかけます。ボルトを一回転させると約0.5mm外側へスクリーンが引っ張られます。スクリーン下面のシワの状態を見ながら行ってください。この場合、最大で0.5回転から1回転の間で調整を終らせてください。これ以上回転させた場合2項のような症状になりますので、十分にスクリーンの状態を見ながら行ってください。



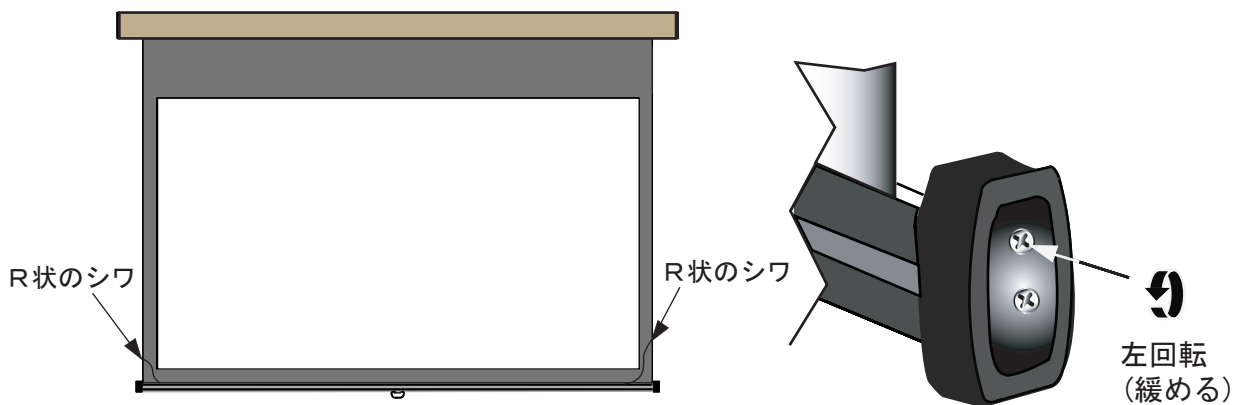
禁止

調整ボルトを回転させる時は必ず左右同じ回数で行ってください。片側だけ回転させますと、かえってシワを発生させてしまい、外観を損ねたりする恐れがあります。



調整ボルトの最大回転数は、出荷調整済の3回転を含めて左右共に4回転が限度です。

2. テンションをかけすぎた場合、スクリーン下面の端にR状のシワが発生する場合があります。この場合は、左回転させてR状のシワの状態を見ながらテンションを緩めてください。



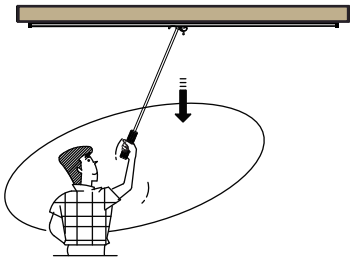
注意

- ・ テンションを掛けすぎた時は、調整ボルトを左回転させて一旦テンションを緩め2~3日放置してください。再度スクリーンの状態を見ながらテンションの調整をしてください。
- ・ シワの性質によっては、完全に取り切れない場合もありますのでご了承ください。

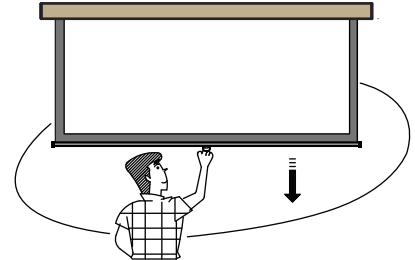
# スクリーンの使い方

## ◆引き出すとき

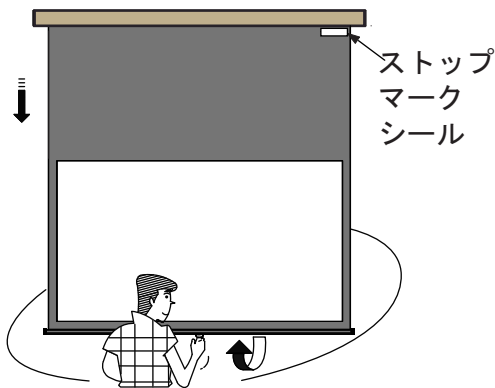
1. 付属の引き下げ棒を、スクリーンの引き下げ金具にひっかけ、引き出します。



2. 手が届く位置まで下げたら、手に持ち替えて引き出します。この時ロックが掛かった場合、でもそのまま引き出してください。

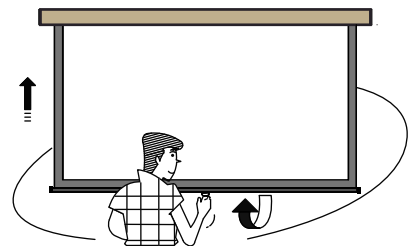


3. スクリーンの引き出しは、必ずストップマークシールがプロテクターケースから見え始めるまでの範囲で使用してください。しっかりと手をそえ、止めたい位置でスクリーンを軽く上に戻すようにさせロックが掛かった事を確認してから手をはなしてください。



## ◆収納するとき

1. 引き下げ金具をしっかり手で持ち、軽く引き下げ、ロックを解除させるとスクリーンは、自然に巻き戻ります。



注意

スクリーン上部マスク部に貼ってあるストップマークシール以上引き下げないでください。ストップマークシール以上引き下げた状態で長時間放置しますとスクリーンが脱落する恐れがあります。



注意

巻き上がり時の上昇速度は、環境温度(室温および空調温度)によって変化しますが故障ではありません。



注意



ストップマークシールを見落としてスクリーンを最大まで引き下げた場合、スクリーンが巻き戻らなくなります。この場合は、ボトムバー中央を握ってやや強く押し下げますとロックが解除されますが、1回で解除されない場合は、もう一度同じ操作をしてください。ただし、この方法を何度も行うとスクリーンの脱落の恐れがありますので、スクリーンの引き出しは必ずストップマークシールが出てくるまでの範囲で使用してください。



機構部の保護の為、連続して昇降させないでください。



スクリーン面をきれいに保つため、ご使用のあとは必ずスクリーンをプロテクターケース内に巻き戻してください。  
(その際、虫等が付着していない事を必ず確認してください。)



引き下げ棒は、必ずグリップ部分を握って使用してください。ひっかけ部を握ったり振り回したりすると、思わぬけがの原因となります。

# 注意

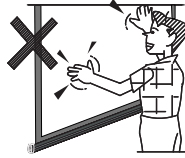
スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして丁寧にお取り扱いください。

## 使用上のご注意

- スクリーン面に手をふれないでください。



禁止



- ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。



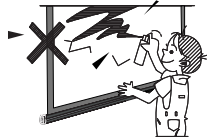
分解禁止



- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



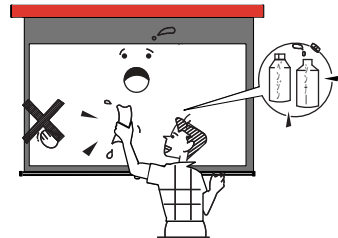
禁止



- 水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。



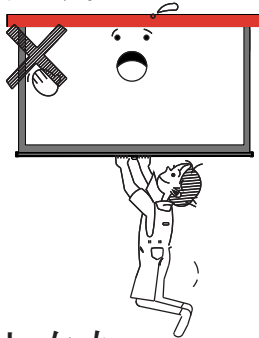
禁止



- ケースやスクリーンにぶら下がったり、掲示物をかけたりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。



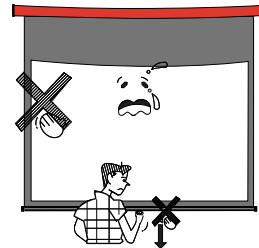
警告



- スクリーンを無理に引き出さないでください。本体またはスクリーンが脱落する恐れがあります。



禁止

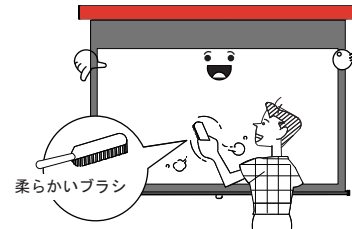


## お手入れのしかた

- ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。

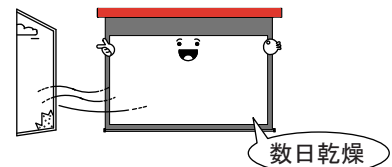


## 置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気が多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。



スクリーン表面は出荷前に充分乾燥させていますが、万一ニオイが強い場合は、窓を開け風通しを良くし、数日乾燥させてください。





株式会社 キクチ科学研究所

本 社 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35  
TEL. 03-3952-5131(代) FAX. 03-3953-0051

大阪営業所 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-6-24  
Y'sピアアクセス心斎橋7F  
TEL. 06-6538-6070(代) FAX. 06-6537-2321

戸田MLC 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木7-13-6  
TEL. 048-422-3821(代) FAX. 048-422-3844

<http://www.kikuchi-screen.co.jp/>

KIKUCHI SCIENCE.LAB 2006.11 SR-C RW